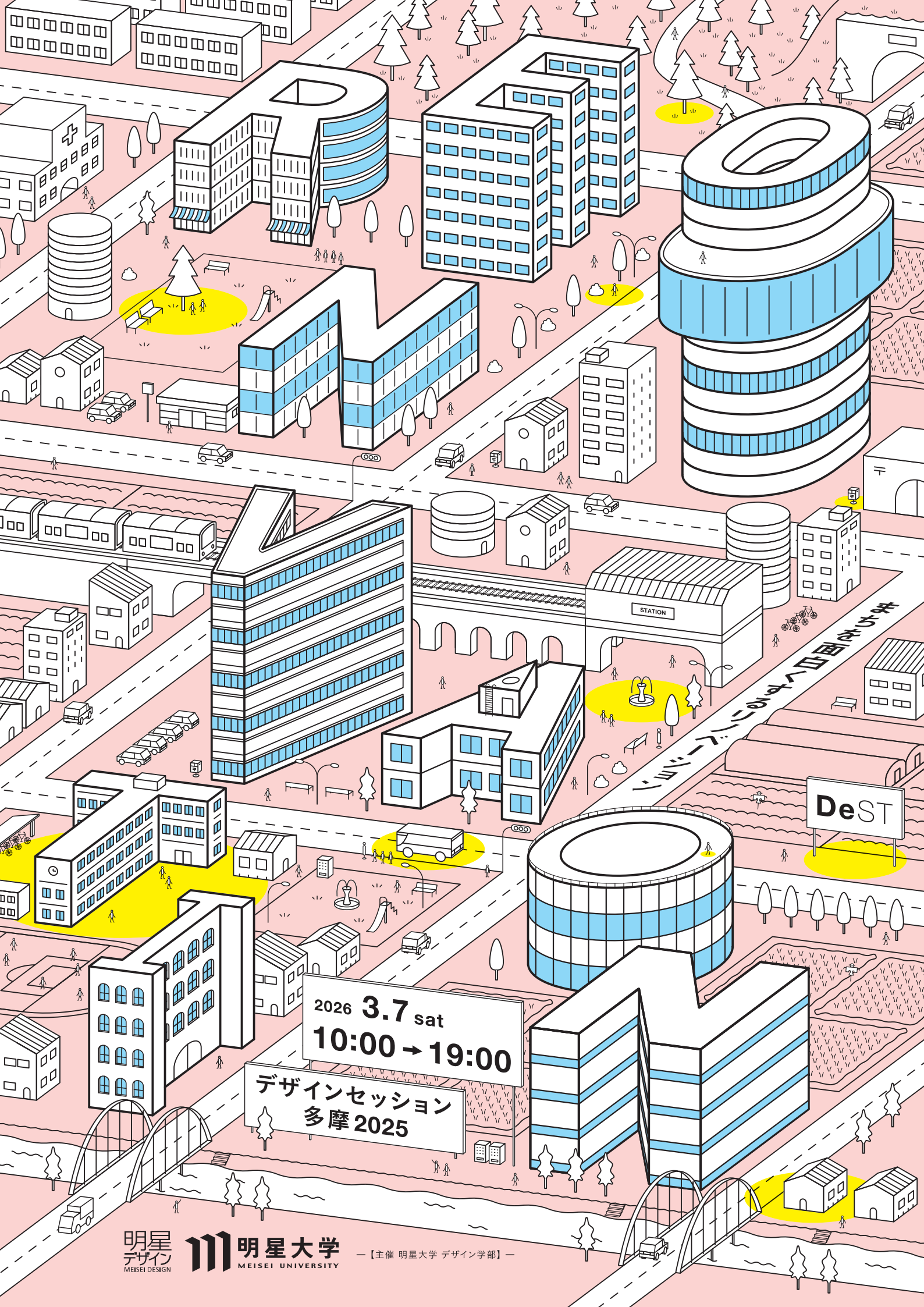




デザインセッション多摩 2025

2026.3.7 sat 10:00-19:00

自分たちの目的地を探る「デザインセッション多摩 (DeST デスト)」。個性豊かな30市町村があり約430万人が暮らす多摩エリアで、建築家、デザイナー、経営者、商店主、会社員、公務員、教員、学生など、この地域で活動する仲間がつながり共に考え、できることを持ち寄る。地域をリサーチして、課題を明確にして、資源を活用して、魅力を引き出して、アイデアを出し合い、価値を創造して、デザインの力を活かしたプロジェクトを増やしていく。

2025年度のテーマは、「まちを面白くするリノベーション」

自分たちの暮らすまちに、どんな場があるといいのか。これまでの歴史や地理、風景などを紐解いて、エリアの特性を見つめながら、そこにある建物や状況を更新して、新しい価値を生み出す。

どんなまちに、どんな場ができると、まちは面白くなるのか。住んでいる人、学んでいる人、働いている人、遊んでいる人、様々な人が暮らすまちを想像しながら、前向きに話し合い、考え、交流して、リノベーションの可能性を探り、新しい取り組みを考えます。

デザインセッション多摩2025は、2部構成。

1部の「トークセッション」では、4人のパネラーと東京郊外の「リノベーション」の可能性について話し合います。

2部の「ワークセッション」では、地域で活動する人がリーダーとなり、様々な立場の人と、まちを面白くするリノベーションについて考え、企画提案します。

■目的

リノベーションを考える
まちの可能性を広げる
具体的なアイデアを出す

■こんな人に参加して欲しい

まちを面白くする活動をしたい人
リノベーションに取り組みたい人
まちに新しい場を生み出したい人

日時：2026年3月7日[土] 10:00 - 19:00

会場：明星大学 日野キャンパス 32号館
〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1

定員：第1部 トークセッション(トーク/ディスカッション)
10:00 - 12:30 200名
第2部 ワークセッション(ワールドカフェ/プレゼン)
13:30 - 19:00 100名

参加費：無料

申込方法：下記ウェブサイトからお申し込みください。

1部、2部ともに申込先着順です。

DeST2025 特設サイト

<https://meide.jp/dest2025/>



合理的配慮について

配慮を必要とするご事情のある方、または本イベントへの参加にあたり障がいに関する合理的配慮を希望される方は、2026年3月2日(月)を目途に、下記までご連絡ください。
042-591-5230 (デザイン学部事務センター) koukai@design.meisei-u.ac.jp

アートディレクション | 丸山 晶崇 (株式会社と)
ウェブデザイン | 榎原 彰 (BAO株式会社)
編集 | 野村 智子 (本町企画)
映像 | 株式会社 地域と映像
明星大学デザイン学部デザイン学科
<http://meide.jp/>

— 【主催 明星大学 デザイン学部】 —

明星デザイン MEISEI DESIGN 明星大学 MEISEI UNIVERSITY

トークセッションパネラー



青木 純

株式会社まめくらし代表



國廣 純子

武蔵野美術大学建築学科教授
タウンマネージャー



和久 倫也

WAKUWORKS株式会社代表



瀬川 翠

Studio Tokyo West代表取締役
建築家

ワークセッションリーダー



【奥多摩町】

丸谷 晴道

建築家



【日野市】

一色 ヒロタカ

建築家 / irodori代表取締役
実践女子大学環境デザイン学科准教授



【町田市】

柄内 秋彦

一級建築士事務所TAKIBI代表
明星大学建築学部准教授



【小平市】

田代 朋彦

建築家 / +建築設計



【国分寺市】

小林 麻梨菜

建築家 / YAMMY DESIGN



【国立市】

能作 淳平

Junpei Nousaku Architects代表



【調布市】

久米 岬

建築家 / 久米岬建築設計事務所



【三鷹市】

小さな都市計画

建築設計事務所



【武蔵野市】

studio83

建築設計事務所

企画



萩原 修

プロジェクトデザイナー
明星大学デザイン学部教授



河野 奈保子

プロジェクトデザイナー
武蔵野美術大学非常勤講師



薩川 良弥

わ株式会社代表取締役
合同会社パッチワークス代表社員